

## SNW対話イン九工大 2012 事後アンケート結果 (平成 24 年 11 月 22 日開催)

纏め：村島 正康

1. アンケート回答者 …………… 学生：(修士) 44名

### 2. 基調講演について

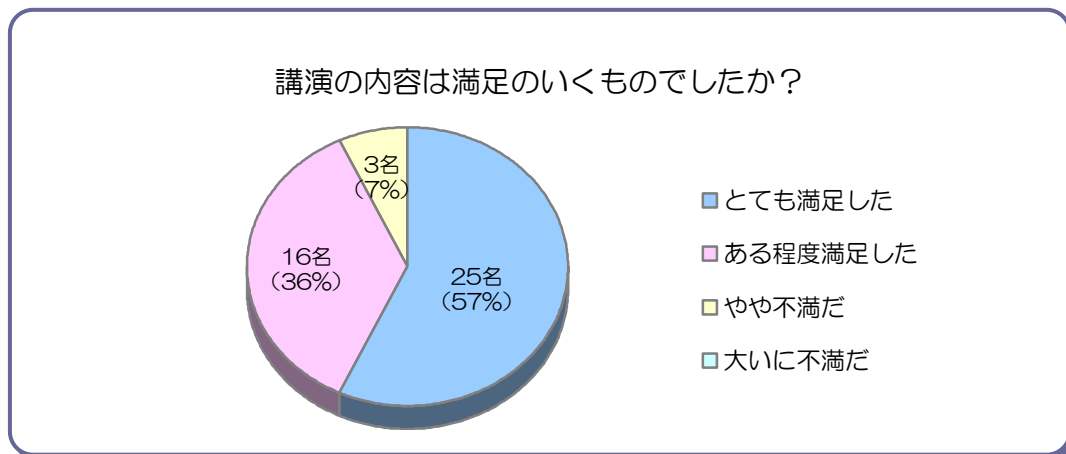
#### (1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

1 とても満足した ……………	25名 (57%)
ある程度満足した ……………	16名 (36%)
やや不満だ ……………	3名 (7%)
大いに不満だ ……………	0名 (0%)

「とても満足した」が半数以上を占め、「ある程度満足した」を加えると、93%になる。

「やや不満だ」の回答は、「討論と言うより講義に近かった」であった。

また、「大いに不満だ」の回答はなかった。



#### <理由>

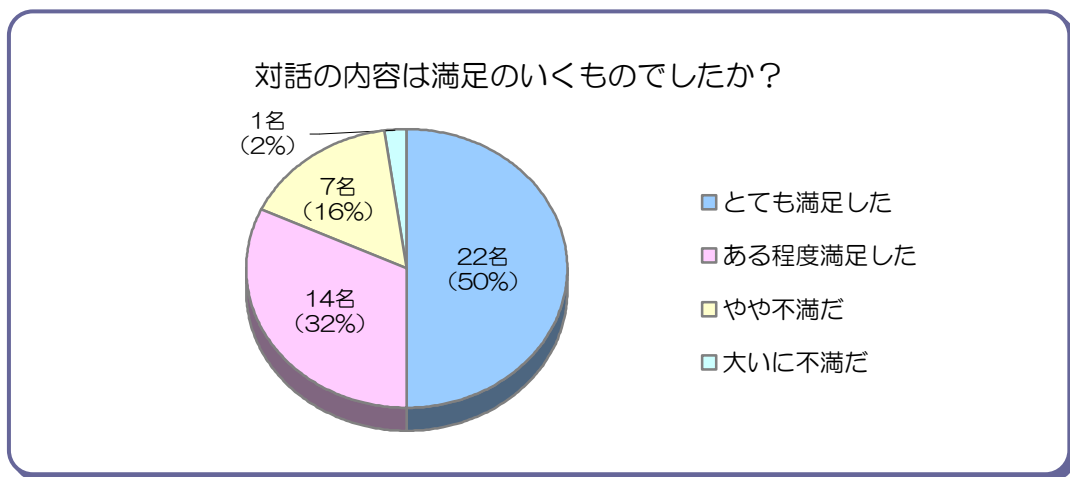
- ・ 原子力発電に対するイメージが大きく変わったため。
  - ・ シニアの方々の専門家視点の原子力のあり方を知ることができた。
  - ・ 図・表を使って分かりやすくまとめてあり、基本を学ぶことができた。
  - ・ 実際に原子力発電に関った人々から話を聞いて勉強になったから。
  - ・ 現状・構成・安全性等の原子力発電に関する知識を分かりやすく発表していただいたため。
  - ・ 現在の原子力発電を取り巻く現状について詳しく知ることができたため。
  - ・ 短い時間でたくさんの内容を得ることができ良かった。
  - ・ 原子力発電の知識が大幅に増加し、疑問も解消できたから。
  - ・ 政府に不満のある私にとって、ストレステスト等の話は痛快で楽しかった。
  - ・ 原子力発電の安全性等について理解でき、自分の原子力に関する知識の無さを実感でき勉強する意欲が湧いた。
  
- 「やや不満だ」の3名については、
  - ・ 討論と言うより講義に近かった。(後の2名については回答理由無し)

## (2) 対話の内容は満足いくものでしたか？その理由は？

とても満足した	22名 (50%)
ある程度満足した	14名 (32%)
やや不満だ	7名 (16%)
大いに不満だ	1名 (2%)

回答者の80%以上が「満足した」としている。

「やや不満だ」の回答には、「もう少し詳しく理解しながら行いたかった。」「シニアの方に対する学生の人数が多く聞きたいことが聞けなかった、質疑応答の時間が少なかった。」等があり、「大いに不満だ」1名の回答は、「時間がなすぎた。」であった。



### <理由>

- 自分達が疑問に思っていることに全て答えてもらったから。
  - ・ 原子力に対して世界の情勢等をからめて教えてもらったのが良かった。
  - ・ シニアの専門家の方と対話する機会が得られたため。
  - ・ 代価エネルギーの研究等、知らなかったことが聞けた、実のある内容の討論ができた。
  - ・ トータルでみた原子力の有用性について聞けたから。
  - ・ 和気藹々としたムードでよい対話ができただから。
  - ・ 原子力のメリットを知ることができ、デメリットが勘違いによるものが多いことに気付けたから。
  - ・ 放射線への国民や政府の理解度など聞くことができ、対策について良い意見を聞くことができた。
  - ・ 原子力発電に対する現場の人の生の意見を聞くことで、マスコミでは聞けない情報や意見を知ることができたため。
  - ・ 原子力発電の重要性について理解できた。色々なデータについて定量的に説明していただき分かりやすかった。
  - ・ 疑問に思うことや、知らないことを対話の形で学ぶことができ、非常に勉強になった。
  - ・ 原子力がもたらす経済効果など詳細に教えていただくことができた、もう少し時間があればと思った。
  - ・ もう少し自分達の意見を発言したかった。

●「やや不満だ」7名については、

- ・ もう少し詳しく理解しながら行いたかった。
- ・ 対話というより独演会のような感じだった。
- ・ 質問に丁寧に答えていただいたのは非常にありがたかったが、それに関して討論する時間が少なかった、この点は自分の能力不足もあると思うため改善したい。
- ・ シニアの方に対する学生の人数が多く、聞きたいことが聞けなかった、質疑応答の時間が少なかった。

(後の3名については回答理由無し)

●「大いに不満だ」1名は、

- ・ 時間がなさすぎた。

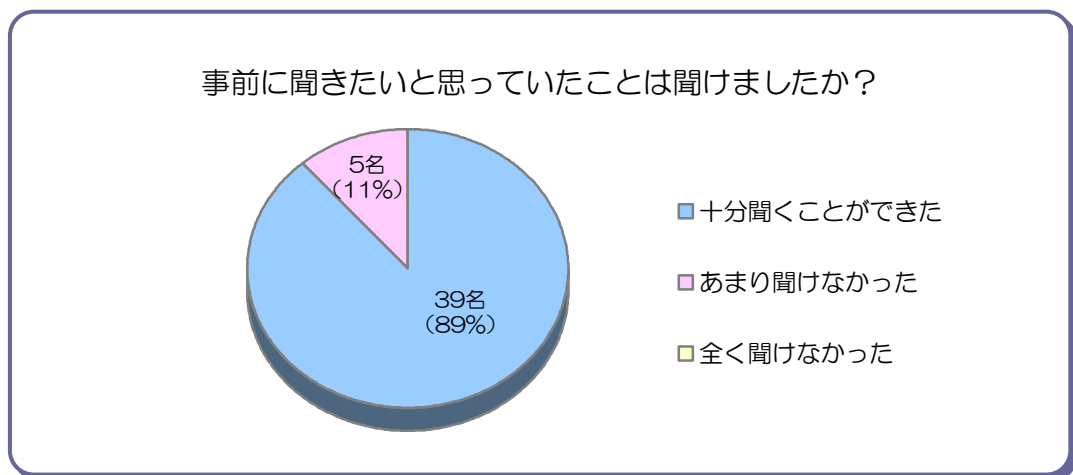
(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた …………… 39名 (89%)

あまり聞けなかった …………… 5名 (11%)

全く聞けなかった …………… 0名 (0%)

9割近くが「十分聞くことができた」と答えている。



#### (4) 今回の対話で得られたことは何ですか？

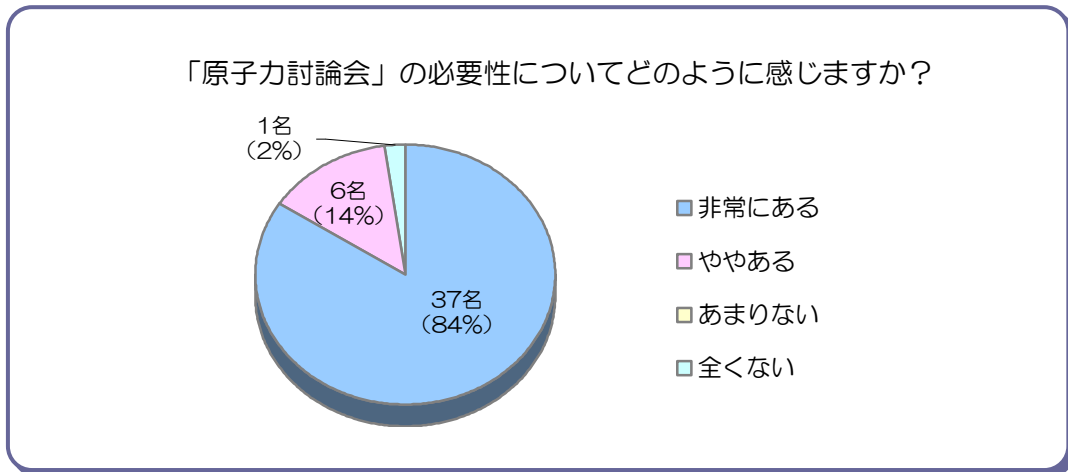
- ・ 原子力に関する専門家の知識とシニアの方の考え方を知ることができた。
  - ・ 原子力に対する新たな知識、自分が認識しているものと全く違うことが分かった。
  - ・ 放射能に対する正しい知識を身に付けることが重要であること。
  - ・ 専門家から見た 3.11 後の政府の対応や国民の反応について意見を聞くことができた。
  - ・ 原子力の安全性（グラウンドレベル、耐震、水密性）等、世論では浸透していないことを理解できた。
  - ・ 原子力発電における正しい知識、重要性。
  - ・ 原子力の現状とその脆弱性に対する対策。
  - ・ 原子力が無いと発電系統はやって行けない。
  - ・ 安全性・技術面・国民の理解といった様々な観点から原子力について考えることができた。
  - ・ 地震による原発の安全対策、また津波対策といったことを聞いたので良かった。
  - ・ 原子力・放射線に対するイメージが変わった。
  - ・ 原子力の現場で働いている方々の本音を聞くことができた。
  - ・ 原子力発電がもたらす経済効果等、詳細に教えていただくことができた。もう少し時間があればと思う。
  
- ・ 原子力発電に対する世の中の偏見などを学べた。
  - ・ 情報災害なる事柄について知ることができて勉強になった。
  - ・ マスメディアでは語られない原子力の真実。
  - ・ 原子力発電の安全性、効率の高さ及び政府の愚かさ。
  - ・ 豊富な知識とメディアの裏側、疑問に思っていたことが解決した。
  - ・ メディア・マスコミを批判的に見る。
  
- ・ 今後の原子力のあり方や、日本はどうすればいいか考えることができる。
  - ・ 原子力のようなベース電力を他に求めることは難しい。
  - ・ 原発再稼動に関すること、原子力発電の必要性、原子力の大切さ。
  - ・ 原子力が日本にもたらす経済効果と、将来の日本を大きく左右するということ。
  - ・ 電気の技術者として原子力との関係性をあらためて考えさせられた。
  - ・ 原子力は人類の共通財産、原発は必要である。
  - ・ 原子力に対する理解と、若者に課せられた使命が分かった。
  - ・ 今後、日本が国民により深く原子力のことを伝える。
  - ・ 原子力発電は安全ということ。今日聞いたことを家族や友人にも教えたい。

(5)「原子力討論会」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある	37名 (84%)
ややある	6名 (14%)
あまりない	0名 (0%)
全くない	1名 (2%)

回答者の98%が「非常にある」又は「ややある」と回答している。

「全くない」については、回答理由なし。



<理由>

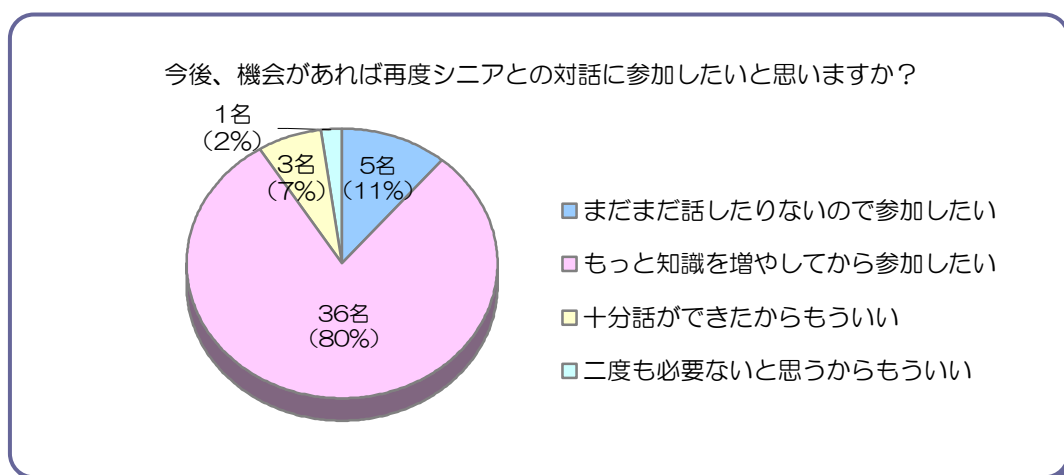
- 原子力に携わっている方の話を直接聞くことで、一般的には知られていないことを知ることができ、他の人と討論することで他の人の意見を知り、自分の認識の間違いを正すことができる貴重な機会である。
  - ・ 専門家のシニアの方と話す機会がなく、とても貴重な機会だと思うので非常に重要だと思う。
  - ・ 学生等の一般人と専門家が討論することにより、違う分野の知識のすれ違いというものが解消されるのではないかと考えるため。
  - ・ 原子力発電の仕事をしている方の話は現実味があり、原子力の安全性について理解することができた。知らない人のためには、一番説得力のある討論会であると思う。
  - ・ 原発・放射線の安全性について理解を深めることができ良かった、原子力に対するイメージを改めるためにも積極的に実施する必要性を感じた。
  - ・ 討論することで、より理解を深められ、正しい知識を身に付けることができ、原子力に対して自分自身の意見を持てるため。
- 原子力反対の声だけが取り上げられる中で、フェアな討論の場が必要だと感じたから。
  - ・ 正しい知識を広めることは一番必要だと思うから。原発反対派は間違った知識や感情に流され、現実が見えていない。自分達の首を絞めていることも知らずに反対しているので、早く気付かせてあげる必要がある。
  - ・ メディア等で得られる偏った情報でなく、実際の情報・意見、推進派の意見も聞ける良い機会だと思う。
  - ・ 身近な人々は殆ど脱原発の波に流されているので、私たち工学部学生が理解し、公言して行く必要があると実感できたから。

- ・ 脱原発を訴えている人々の 7~8 割は本質的なことは理解できておらず、周りの人の意見に流されていると思う。その人達に原子力発電のことや安全性について教えるためにも「原子力討論会」は必要だと思う。
  - ・ 私たち学生が討論し学ぶことはもちろん重要ですが、それ以上にマスコミにもこのような機会を与え学んでもらい、知識を持った上で報道してほしい。
- 今後のエネルギー事情を考えていく際、原子力発電は無視できない要素であるので、電気の学生として、技術者としても必要性を感じる。
- ・ 原子力発電を通して、日本のみでなく世界の今後のエネルギーのあり方を考える良い機会となったから。
  - ・ 大学で理論を勉強しても現実の状況が全然分からないので、原子力討論会は学生や社会、また国の成長のために行う必要がある。
  - ・ 日本のエネルギー問題を担う重要な分野であると思うので、国民に広く理解を求める必要があると考えるため。
  - ・ 原子力をゼロにしようとした日本。しかし、原子力発電の正しい理解と、脱原発後の日本に与える様々な影響を理解するべきなので、この討論会は必要。

**(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？**

- まだまだ話したりないので参加したい …… 5名 (11%)
- もっと知識を増やしてから参加したい …… 36名 (80%)
- 十分話ができたからもういい …… 3名 (7%)
- 二度も必要ないと思うからもういい …… 1名 (2%)

80%が「もっと知識を増やしてから参加したい」と回答している。

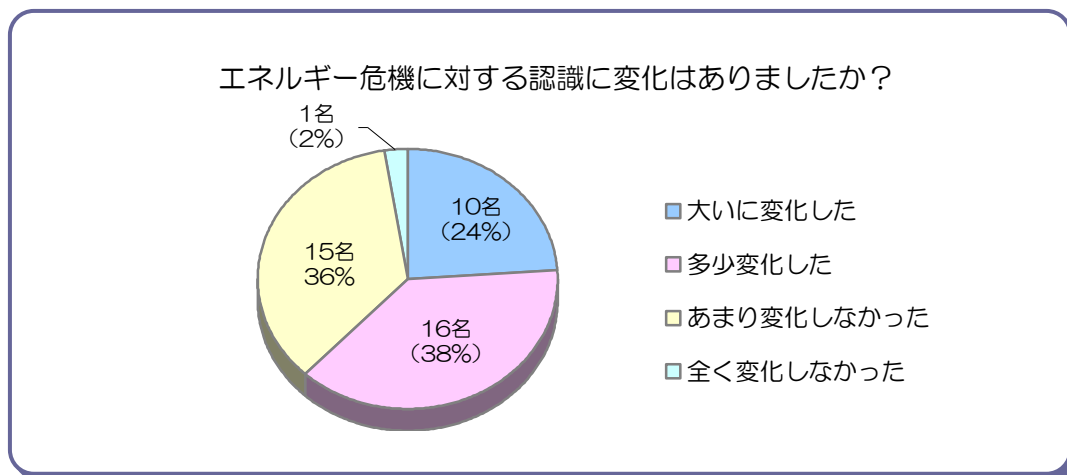


## (7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した	10名 (24%)
多少变化した	16名 (38%)
あまり变化しなかった	15名 (36%)
全く变化しなかった	1名 (2%)

回答者の62%が「大いに变化した」又は「多少变化した」と回答している。

「全く变化しなかった」1名は「もともと危機感を持っていた」、「あまり变化しなかった」15名にも、「もともと危機感を持っていた」の回答が含まれる。



### <理由>

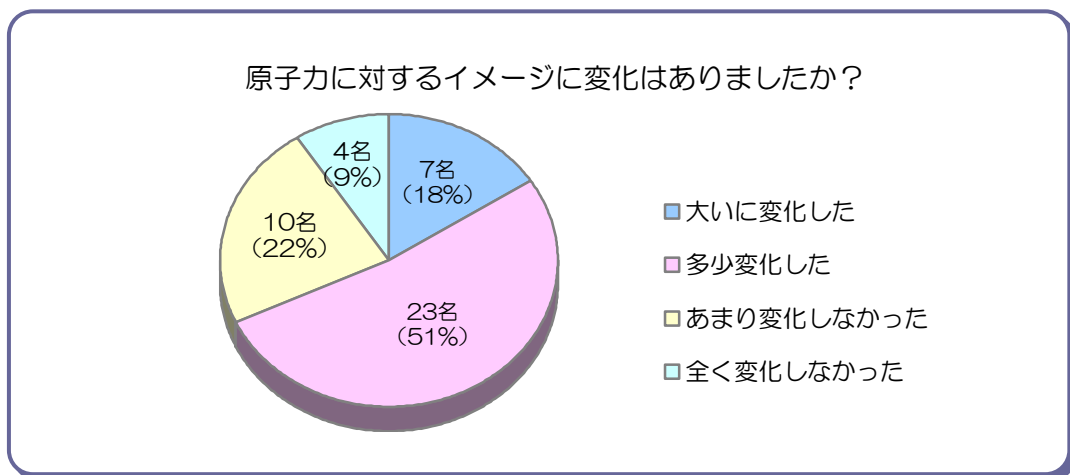
- 火力発電のコスト高と、原発のコストの低さ。
  - ・ 化石燃料に対するウラン燃料の輸入時のメリット等、原子力の強みが分かった。
  - ・ 原発を止めると海外から化石燃料の輸入に頼らなければならず、多額のお金が海外に流れる。
  - ・ やはり、日本には原子力がまだ必要、と改めて理解したから。
  - ・ CO<sub>2</sub>問題が深刻になっているので、火力は少なくするべきだ。
  - ・ 火力発電の燃料費が1日約100億円かかっていると知ったため。
  - ・ コスト面等でエネルギー危機が訪れるだろうと思った。
  - ・ 原子力の穴の埋め方。
  - ・ コストや資源量を知り、エネルギーの現状を知ることができた。
  - ・ 石油やLNGは輸入するしかなく、国民はもっと危機感を持つべきだ。
  - ・ 原子力を使わなかった場合、九州において十億円の損失がある。
  - ・ 電気料金の高騰、経済面をみたときの日本の危機を想像できたから。
- 元々原子力発電賛成派であったため、今回その必要性が再認識できたため。
  - ・ 日本で原子力を失くしてしまうと、エネルギー自給できない。
- 知識が増えたことで、自分の意見が明確になったから。
  - ・ 残っているウランの量など燃料の貯蓄を学んだため。
  - ・ 国内にはエネルギー資源が乏しいので、効率良く発電することが必要だと思った。
  - ・ 具体的な数値を知ることができたから。

- ・ 再生可能エネルギーがまだまだ厳しいと知ったから。
  - ・ 原発に対する安全性の認識が変わった。
  - ・ 石油、石炭、LNG に頼りすぎるのは危険だと思った。
  - ・ エネルギー資源の枯渇について改めて認識した。
- ・ 火力発電で十分まかなえると思った。(大いに变化した)
- ・ 以前からエネルギーに対して危機感を持っていた。(あまり変化しなかった)
- ・ 時間がなかった。
  - ・ エネルギー機器に関しては、原子力以外の発電に関して調べたりしており、ある程度の知識や認識はあった。
  - ・ 元々エネルギーに対する危機及び認識はあったので、さほどの変化はなかった。
  - ・ 原子力の必要性は、前々から分かっていた。
  - ・ 元々原発再稼働は、賛成であったため。
  - ・ 元々持っていたイメージ認識と同じ対話の内容であった。
  - ・ 元々認識していたことと、本日の討論会で出たことが、類似していたから。
  - ・ 先端電気エネルギー特論等で認識があった。
  - ・ エネルギー資源の枯渇について改めて認識した。
- ・ 元々危機感があったため。(全く変化しなかった)

**(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？**

大いに变化した …………… 7名 (18%)  
 多少变化した …………… 23名 (51%)  
 あまり変化しなかった …………… 10名 (22%)  
 全く変化しなかった …………… 4名 (9%)

回答者の約7割が「大いに变化した」又は「多少变化した」と回答している。また、22%は「あまり変化しなかった」と回答している。なお、「全く変化しなかった」4名は“もともと原発推進派であり、思ったとおりであったため”と回答している。



<理由>

- ・ 正しい知識がなく怖いイメージだったが、今回話し合っって全くそんなことがない事が分かった。

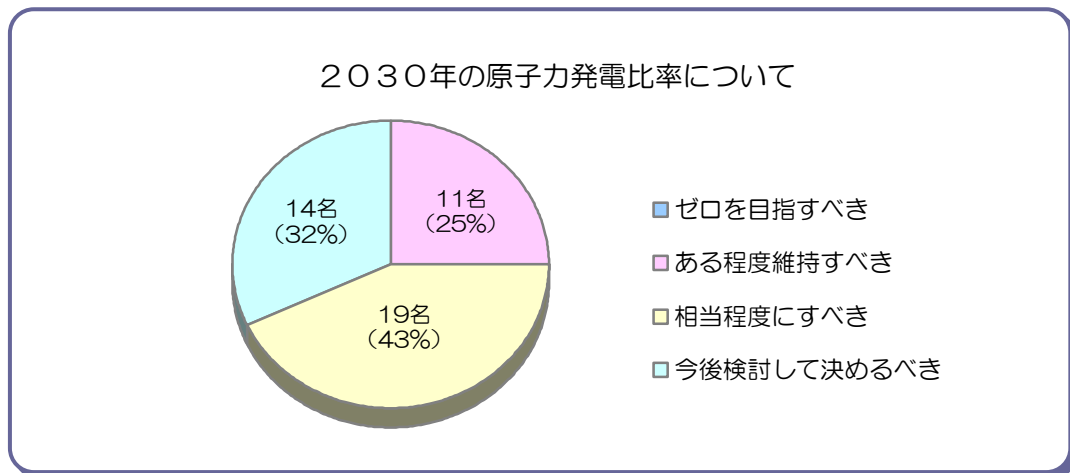


- ・ 放射線で亡くなった方がいないのは知らなかった。
  - ・ 原子力の安全対策などが聞け、安全性に対してイメージが変わった。
  - ・ 一般に知られていない原子力の知識を身に付けることができたから。
  - ・ 東電が、事故以前に米国学会で津波対策の必要性を発表していたことを知り、本当は信頼性の高い発電であるという考えが変わった。
  - ・ 放射能の安全性を知ることができ、今まで以上に賛成派になった。
  - ・ 日本で原発が建造され始めた時の経緯や、当時の思い等を聞くことができた。
  - ・ 情報源がネットやニュース等だけだったので、正しい知識が無く、今回討論で原子力に対するイメージが変化した。
  - ・ 今の日本に原子力は必要であると強く思うようになったから。
  - ・ シニアの意見を聞き、リアルな現状が分かった。
  - ・ もともと原子力は必要だと考えていたが、さらに必要だと感じた。
  - ・ 予想以上の原子力の経済効果で、火力とは違い国益となるもの。
  - ・ 安全面と資源面において、ここまで充実しているのだと感じたため。
  - ・ マスコミが喧伝するほど原発は危険ではなく、有事に対するバックアップを想定の限り用意していることが分かった。
- ・ 原子力は国内の技術者を育て、世界において日本はリードするべきだと思った。
- ・ 外国、特にフランスに多く学ぶべきだと感じた。
- ・ 来年の7月までに新しい基準ができるので期待したい。
  - ・ 原子力は今後、世界を救う電源だから。
  - ・ 原子力は日本にとってあらゆる意味で途絶えさせてはいけないから。
- ・ 便利だが、人為ミスや制御を間違えると危険という考えは変わらなかったから。(あまり変化しなかった)
- ・ この時点で原子力事故を起こしたことはある意味では良かったのかも知れないと思った。原子力に対する運用や法整備も進展しているので良い傾向だと思った。
  - ・ 原子力のリスクリターンは、前々から分かっていた。
  - ・ そもそも原子力に賛成だったので、イメージとしては確信が持てた。
  - ・ 知っていることばかりだったから。
  - ・ シニアの人の意見を聞き、リアルな現状が分かった。
  - ・ 原子力のリスク等は、情報の収集である程度理解できていたので、イメージ変化は感じられなかった。
  - ・ 既に必要であると思っていた。
  - ・ 原子力を再稼働すべきと考えていたので、あまり変化はなかった。
- ・ 原子力推進です。(全く変化しなかった)
- ・ 元々賛成派だから。
  - ・ 安全であることや、無くなった時のリスクを知っていたため。
  - ・ 思ったとおりだったから。

## (9) 2030年の原子力発電比率について

ゼロを目指すべき	0名 (0%)
ある程度維持すべき	11名 (25%)
相当程度にすべき(30%)	19名 (43%)
今後検討して決めるべき(3年ほど)	14名 (32%)

「ゼロを目指すべき」の回答は無く、「相当程度にすべき」が43%、「ある程度維持すべき」が25%を占めている。「今後検討して決めるべき」の回答理由は、今すぐ妥当な判断はできないので、安全対策や理解活動に努めるべきとの意見であった。



### <理由>

- 再生可能エネルギーだけでは、日本のエネルギーはまかなえない。火力を使うにしても、化石燃料の高騰、温暖化問題があるから。
  - ・ 原子力はコストが低く有用である。
  - ・ ベースエネルギーとして、原発は必要である。
  - ・ ベストミックスにできるだけ近づけ、その後、再生可能エネルギーは化石燃料の代替として行くべき。
  - ・ 震災前と同じような電源構成（ベストミックス）が必要であると考えため。
  - ・ 日本は島国であり、ドイツの真似をしても意味がない。安定したエネルギーである原子力は稼働させておくべき。
  - ・ 環境の点から考えて二酸化炭素の排出量の低いもので、かつ安定供給できる発電方法として期待できるため。
  - ・ 自然エネルギーを大量投入してもその分の火力発電等を変動に対して用意する必要があるから。
- 経済のために原子力発電が必要である。また、原子力は世界で不可欠なシステムなので、原子力の技術を進めなければいけない。
  - ・ 企業の生産・製造における電力不足、それに伴う経済降下。
  - ・ 日本の先端の原子力の技術を失くすのはもったいないから。
- 原発に代わる電源の代替案が明確でない中、脱原発は賛成できない。
  - ・ 2030年までに新エネルギーの発展が大きくなるとは思えないから。

- ・ 太陽光や風力による発電に頼るのはまだ早いと思うから。
  - ・ 原発を頭ごなしに否定するのではなく、理解しようとする心構えが必要であると感じた。
  - ・ 20年では社会は変えられないと思うから。研究開発するためにはエネルギーは必要だし、燃料にばかりお金を使うと日本自体が疲弊してしまうので。
  - ・ 今の再生可能エネルギーでは原発の代替エネルギーとはなりえないので、再生可能エネルギーの技術が発展するまでは維持すべきである。
  - ・ 原子力の代価エネルギーが見出せない中、ゼロを目指すのは無理があるから。
- 苦しい生活をしたくないから。しかし、安全対策はしっかりしてほしいと思う。
- ・ ゼロにしてしまうと緊急時などに困ってしまうため、相当程度は必要と思うから。
  - ・ 福島的事は本当に残念だったが、それを参考により安全性を高めているから。
- 原子力にいかなる安全措置をしても危険なことに変わりはないから。(相当程度にすべき)
- 安全策の確保と国民の知識のズレの解消に努め、段階的に原子力発電を普及して行けば良いと考えるため。(今後検討して決めるべき)
- ・ 今は原子力発電に対するイメージが悪いので、妥当な判断ができるとは思わないので。
  - ・ 自分のように間違った知識を持っている人もいるので、原子力に対する理解をもっと正しくすることが必要であると考え、今すぐではなくとも、原子力のことを優先して考えないといけない。
  - ・ 原子力発電の改善策などを考える時間を設けるべきだと考えるため。

**(10) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。**

- 原子力、エネルギーに関してシニアの人達と討論することで理解を深め、今後どのようにして行くべきかを学ぶことができ、本当に良い企画だと思う、今後もこういった企画を増やして欲しい、ありがとうございました。
- ・ 原子力の実態を教えてもらい、原子力の安全性や脆弱性を知ることができた。
  - ・ シニアの方々が分かりやすく説明して下さり、有意義な時間を過ごすことができた。
  - ・ 今後も原子力に関する技術を向上させて行き、世界に貢献していく事が必要だと感じた。
  - ・ 専門家の方々から、授業では語られない話を聞いて貴重な体験ができたように思う。
  - ・ 原子力発電の専門家の方々から、原子力発電の安全性や今後原子力発電がどうなって行くのかといったことが聞いて、普段、経験できないことができて良かった。
  - ・ 原子力に関してあまり考えたことは今までなかったけれども、今回の講演を通していろいろと考えさせられる良い機会だった、今後も疑問に思ったことは調べてみようと思った。
  - ・ とても勉強になった。今、世間で問題となっていることの知識が増えたことで、正しい見方ができるようになった気がするし、もっと知識を増やして、広い視野で自分の意見を持ちたいと思う。
  - ・ 非常に役に立つ講義である、機会があったらまた参加したい。特に専門家の意見を聞ける機会があまりないので、できればこんな講義を続けてほしい。
  - ・ 原子力発電を停止している現在、「本当にそれで良いのか?」、「電力会社はどう考えているのか?」という疑問を持っていたため、今回、専門家の方々の率直な意見を聞いて本当にためになった、ありがとうございました。
  - ・ 具体的な安全対策や、それに対する投資を教えていただいた。火力発電に専念し、海外に資金

を流すよりも、安全対策への投資を十分に行うことで、国益ともなり、さらには将来の日本の発展に大いに貢献するため、原子力の安全性を向上させ、原子力を続けるべきであると思う。

- ・ 今回の対話を通して、福島原発事故について詳細に聞くことができたので良かったと思った。ただ、シニアの方々が原子力推進派だったので、推進派の意見が多いように思った、もっと中立の立場だったら意見が聞きやすいのではないかと思った。私の意見として、太陽光や風力に頼るのはまだ早いと思い、電気料金の値上げなどで日本の企業が海外に流失して行くなら、安全対策などをしっかりして、早く再稼働すべきではないかと思っていたので、非常に貴重な対話となった、また、参加したいと思った。
  
- ・ この企画は日本の将来を考えたものであり、メディアが放送する誤認を減らすものでもあり、ぜひ、様々な場所で行ってほしいと感じた。
  - ・ メディアを上手く利用して、原発の必要性和正しい知識を広めて行くべきだと思う。
  - ・ マスコミが取り上げない情報を教えていただけことが特に印象に残った。就職を考えると今日までは原子力関係は敬遠しがちだったが、数十年先までビジョンを考えたとき、再稼働できないという事態は避けなければならないと思い、候補に入れようと思った。
  - ・ 原子力発電について学ぶ機会はこれまで全くなく、特に放射線について、マスコミで言われているような被害はなく、過大に訴えられていることなどを知り、とても有意義な討論だった。
  - ・ テレビなどのメディアでは“脱原発”の放送ばかりだが、原発の安全性、経済的な面などから複眼的に考えることができ、本当に良い機会だった。
  
- ・ 討論というより講義に近くあまり対話ができなかったのが残念。
  - ・ 質問に対する答えばかりではなく、生徒どうしの議論の時間を多くとる必要がある。それに対するコメント、意見を専門家が後から話すようにした方がよい。
  - ・ もう少し討論の時間が必要で、学生にも時間が欲しかった。
  - ・ もっと知識を持って参加した方がよかった。